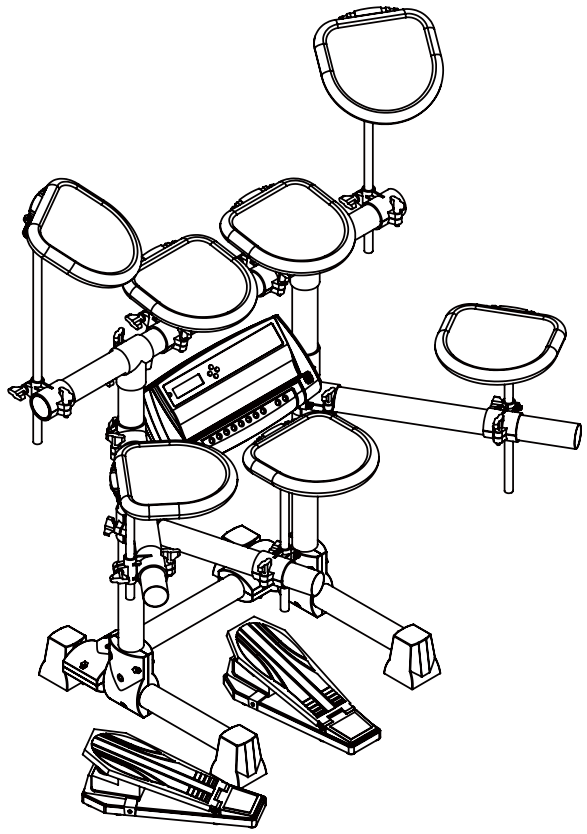
JOY DRUM 2

Electronic Drum Set

取扱説明書 / 保証書

JUG JOY DRUM2 の特徴

- ＊ 組み立てて、スピーカーやヘッドホンをつなぐだけのオールインワン・パッケージ。
- ＊ さまざまなジャンルに対応する 11 種類のドラムキット音源内蔵。32 バリエーション音色。
- ＊ コンパクトでプレーヤーの体型に合わせて調整可能なドラムスタンド。
- ＊ ステージで演奏しているような臨場感を演出するリバーブ機能搭載。
- ＊ ドラム練習に欠かせないメトロノーム機能搭載。
- ＊ ステレオライン入力 (CD プレーヤー、オーディオプレイヤーなど)
- ＊ ヘッドホン端子（ミニプラグ）
- ＊ MIDI 入出力端子 … 外部音源や DTM のソフトウェアの入出力として



この度は、JUG JOY DRUM2 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本機を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。
また、本書はいつでも参照できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

「警告」と「注意」の表示について

⚠ 警告	使い方を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠ 注意	使い方を誤った場合、障害または物的損害の発生が想定される内容を表しています。

図記号の例

⚠	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

以下の指示を必ずお守りください。

⚠ 警告

⚠ 本機をご使用の前に、以下の指示をよくお読みください。

いかなる場合でも、本機（AC アダプタ含）を分解したり、改造したりしないでください。

取扱説明書に書かれていない、修理や部品交換などは絶対にしないでください。修理の必要性があるときには、お買い上げ店にご相談ください。

次のような場所での使用や保存はしないでください。

・極端に温度が高い場所。
（直射日光が当たる場所、暖房機器の近くなど）
・湿度の高い場所。
（風呂場、洗面台、濡れた床など）

・雨が直接当たる場所。
・砂塵やホコリの多い場所。
・振動の多い場所。

本機の設置には、本パッケージのドラムスタンド類およびアクセサリー類をご使用ください。

本機は、安全で正しい動作を確保するため、安定した水平な場所に設置してご使用ください。

破損や感電の原因になりますので、付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。

電源コードは、無理に曲げたり、上にものを置いたりしないでください。断線による火災や感電の原因になります。

ヘッドホンまたはアンプの使用にかかわらず、大音量で長時間使用しないでください。聴覚異常の原因となる可能性があります。万が一、聴力低下や耳鳴りを感じたときには、直ちに使用をやめて専門医にご相談ください。

本機に、硬貨や針金などの異物を入れたり、液体（水、ジュースなど）をかけたりしないでください。

⚠ 次のような場合には、直ちに電源を切り AC アダプタをコンセントから外し、お買い上げ店に修理を依頼してください。

- ACアダプタまたは電源コードが破損したとき。
- 内部に異物が入ったり、液体がこぼれたりしたとき。
- 本機が雨などで濡れてしまったとき。
- 本機が正常に動作しなくなったとき。

⚠ お子様のいる家庭で使用するときには、事故やいたずらなどに注意し、監視するとともに正しい使い方を指導してあげてください。

他の機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしないでください。電源タップなどを使用するときには、電源タップの容量（ワット / アンペア）を確認してください。容量を超えるとコードの被覆が溶けて火災になる恐れがあります。

⚠ 海外でご使用になる場合には、お買い上げ店にご相談ください。

⚠ 注意

本機は、風通しのよい、通気が保たれている場所に設置をして、ご使用ください。

ACアダプタを本機から取り外したり、コンセントから抜き差しするときには、必ずプラグ部分を持ってください。

本機を長時間使用しないときには、ACアダプタをコンセントから外してください。

コードやケーブル類は煩雑にならないよう留意し、お子様の手が届かないように配慮してください。

本機の上に重いものを置かないでください。

本機を移動したり、ACアダプタをコンセントから抜き差しするときには、濡れた手で行わないようにしてください。

本機を移動するときには、接続しているコードやケーブル類を外してから行ってください。

お手入れをするときには、電源を切りACアダプタをコンセントから外してください。

落雷の恐れがあるときには、ACアダプタをコンセントから外してください。

注意事項

「安全上のご注意」以外に、以下の注意事項もお読みください。

電源について

・本機を、エアコンや冷蔵庫などインバーター制御、モーターを使用した電化製品と同じコンセントに接続しないでください。
・本機の長時間使用により、ACアダプタが多少発熱しますが、直流電流の仕様であり故障ではありません。
・本機を他の電子機器と接続する場合には、損傷を防ぐためすべての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

・本機を、パワーアンプなど大型トランスを持つ機器の近くで使用した場合、騒音を発生することがあります。このような場合には、本機の設置向きを変えたり、少し間隔を空けて設置してください。
・本機は、テレビやラジオなどに影響を及ぼす可能性がありますので、これらの近くには設置しないでください。
・本機は、高温により変形や変色のおそれがあります。発熱する機器の近くや直射日光が当たる場所への設置は避けてください。
・本機を末永くお使いいただくために、湿度が高い場所には設置をしないでください。

お手入れについて

・通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、湿らせた布で汚れを拭き取ってください。
・変形、変色の原因となる、ベンジンやシンナー、およびアルコール類は使用しないでください。

その他の注意事項

・本機の組み立て、また本機をお使いになる際には、怪我に気をつけ、取り扱いには十分ご注意ください。
・サウンドモジュールのディスプレイを叩いたり押したりしないでください。
・演奏する際には、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間はヘッドホンを使用するなど、音量にご注意ください。
・本機は、演奏時の打撃音を小さくするように設計されていますが、床や壁を通して振動などが伝わる場合がありますので、ご注意ください。
・輸送の際には、本機が梱包されていたパッケージ、または同等の緩衝材を使用して梱包してください。
・ドラムパッドとサウンドモジュールの接続には付属の専用ケーブルをお使いください。他社製のケーブルを使用される場合は次の点にご注意ください。
  ・接続ケーブルには、抵抗が入ったものがあります。本機の接続に抵抗入りのケーブルを使用すると、極端に音量が小さくなる場合があります。ケーブルの仕様については、お買い上げ店にお問い合わせください。

もくじ

安全上のご注意 ……2
警告
注意事項

もくじ ……4

パーツリスト ……5
スタンド類
コネクタ類
パーツ類
アクセサリー類

組み立て方法

ドラムスタンドの組み立て方 ……6
STEP1　フロアバーの組み立て
STEP2　垂直支柱の組み立て
STEP3　一番上の水平バーの組み立て
STEP4　ハイハット、スネア、タム３用バー（太）の組み立て
STEP5　ドラムパッド支持用バーの取り付け
STEP6　ドラムパッドの組み立てと取り付け
STEP7　サウンドモジュールの取り付け
STEP8　ドラムパッドの位置調整とペダルの設置
STEP9　小さなお子様が使用する場合のセッティング

アクセサリーの接続 …… 14
STEP1　ドラムパッド／ペダルとケーブルの接続
STEP2　サウンドモジュールとの接続
STEP3　サウンドモジュールと外部機器の接続

使用方法

サウンドモジュールの使い方 …… 17
音色の選び方
ドラムキットの選び方
バリエーション音色の選び方

リバーブ機能…… 18

メトロノーム機能…… 18
メトロノーム オン / オフ
ビート（拍子）の設定
テンポ調節

ペダル用センサーカバーの交換方法…… 19

音色一覧表…… 20

仕様…… 23

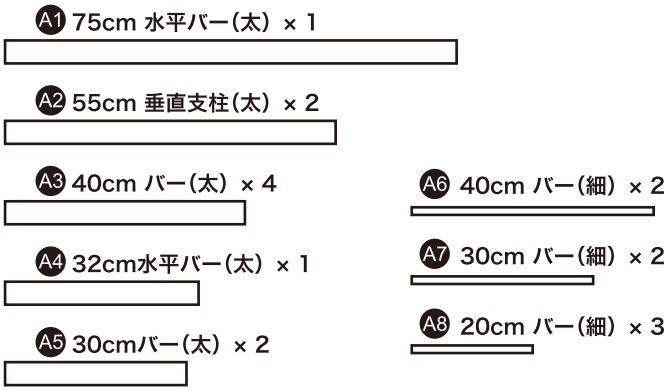
保証規定・保証書…… 24

パーツリスト

組み立て前にすべてのパーツが揃っているか確認してください。

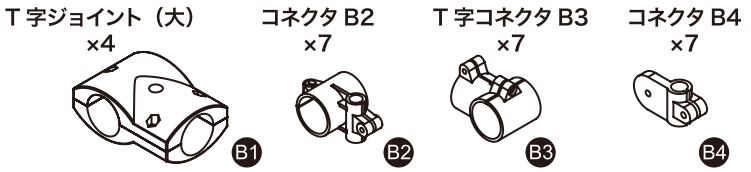
スタンド類

- A1 75cm 水平バー（太）× 1
- A2 55cm 垂直支柱（太）× 2
- A3 40cm バー（太）× 4
- A4 32cm 水平バー（太）× 1
- A5 30cm バー（太）× 2
- A6 40cm バー（細）× 2
- A7 30cm バー（細）× 2
- A8 20cm バー（細）× 3



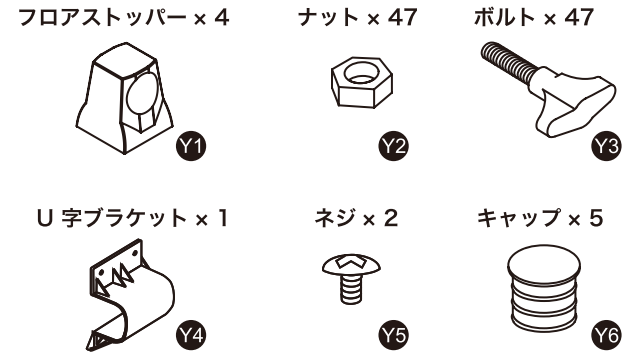
コネクタ類

- B1 T 字ジョイント（大）× 4
- B2 コネクタ B2 × 7
- B3 T 字コネクタ B3 × 7
- B4 コネクタ B4 × 7



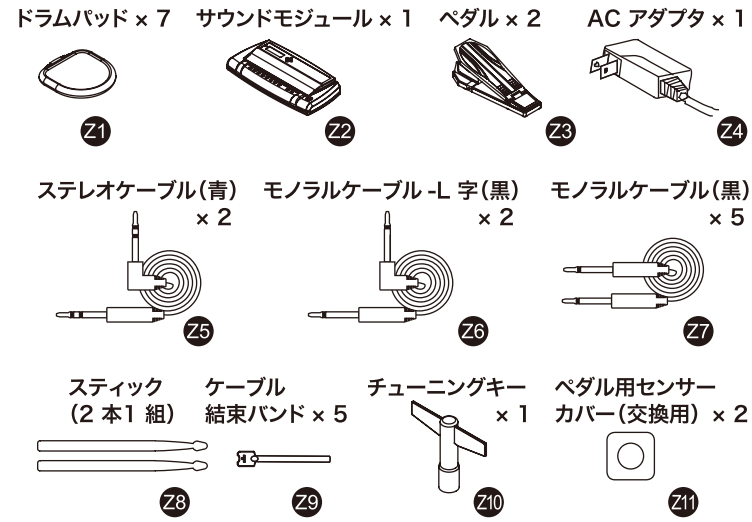
パーツ類

- Y1 フロアストッパー× 4
- Y2 ナット× 47（予備 5 個含）
- Y3 ボルト× 47（予備 5 個含）
- Y4 U 字ブラケット× 1
- Y5 ネジ× 2
- Y6 キャップ× 5



アクセサリー類

- Z1 ドラムパッド× 7
- Z2 サウンドモジュール× 1
- Z3 ペダル× 2
- Z4 AC アダプタ× 1
- Z5 ステレオケーブル（青）× 2
- Z6 モノラルケーブル -L 字（黒）× 2
- Z7 モノラルケーブル（黒）× 5
- Z8 スティック（2 本 1 組）
- Z9 ケーブル結束バンド× 5
- Z10 チューニングキー× 1
- Z11 ペダル用センサーカバー（交換用）× 2



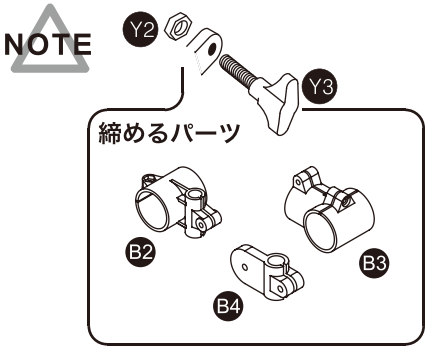
ドラムスタンドの組み立て方

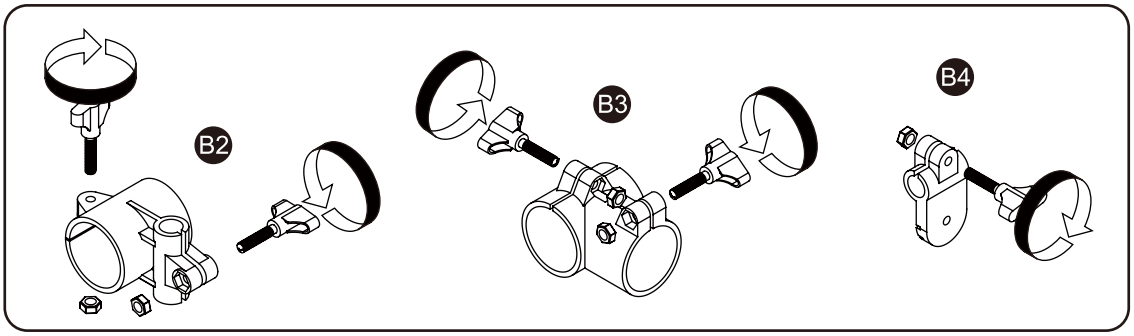
組み立ての前に

ご用意いただくもの

・プラスドライバー
・チューニングキー（付属）

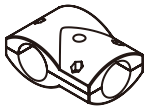
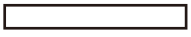
ナットY2、ボルトY3は、セットで使用します。コネクタ類に先に取り付けておきます。
ボルトをナットで締めるようにします。

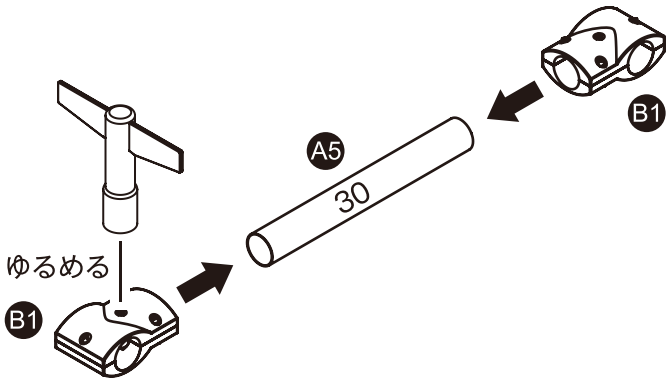




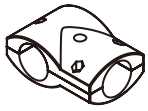
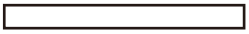
STEP 1 フロアバーの組み立て

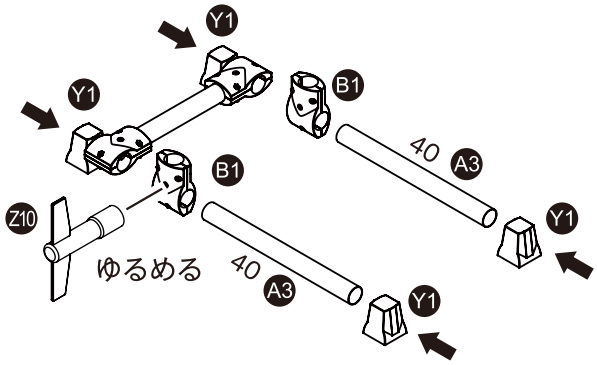
チューニングキーでボルトをゆるめたＴ字ジョイント（大）B1の間に 30cm バー（太）A5を差し込みます。組んだパーツは次のページで使用します。

T 字ジョイント（大）B1 	× 2
30cmバー（太）A5 	× 1



40cm バー（太）A3にＴ字ジョイント（大）B1を通した後、P6 で組み上げた 30cm バー (太）A5を通し両端にフロアストッパーY1を差し込みます。組んだパーツは次の STEP2 で使用します。

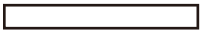
Ｔ字ジョイント（大）B1 	× 2
フロアストッパーY1	× 4
40cmバー（太）A3 	× 2



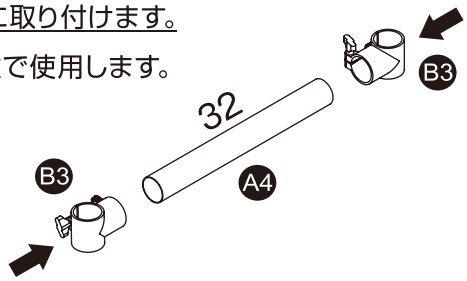
STEP 2 垂直支柱の組み立て

32cm 水平バー（太）A4の両端にＴ字コネクタB3を取り付けます。

Ｔ字コネクタB3は 2 個ともボルトが後ろ側に来るように取り付けます。

Ｔ字コネクタB3	× 2
32cm水平バー（太）A4 	× 1

組んだパーツは次で使用します。

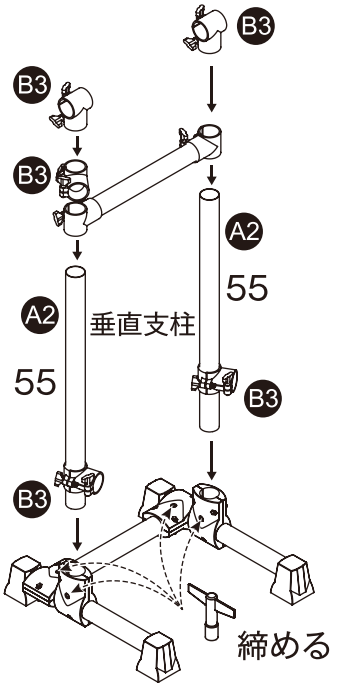


STEP1 で組んだフロアバーに、Ｔ字コネクタB3を取り付けた 55cm 垂直支柱（太）A2２本を差し込み、上記で組んだ 32cm 水平バー（太）A4を通します。

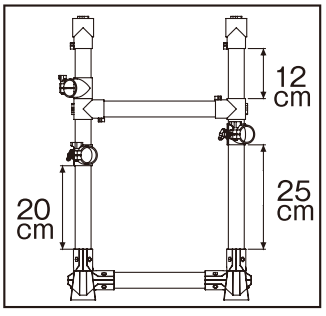
左側の 55cm 垂直支柱（太）A2にのみ、更にもう一つＴ字コネクタB3を取り付け、55cm 垂直支柱（太）A2２本の上端にＴ字コネクタB3× 2 個を横向きに取り付けます。

下図のようにＴ字コネクタB3間を記載の間隔で空けてください。

フロアバーのＴ字ジョイント（大）B1４個の（チューニングキーZ10を使用し）ボルトを締めて固定させます。



Ｔ字コネクタB3	× 5
55cm垂直支柱（太）A2	× 2



STEP 3 一番上の水平バーの組み立て

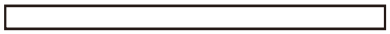
75cm 水平バー（太）A1を取り付けます。

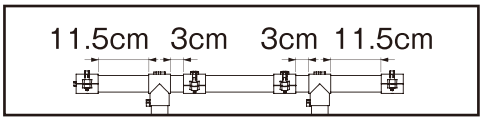
75cm 水平バー（太）A1を右側の垂直支柱に通した後
コネクタB2２個を通し最後に左側の垂直支柱に通します。

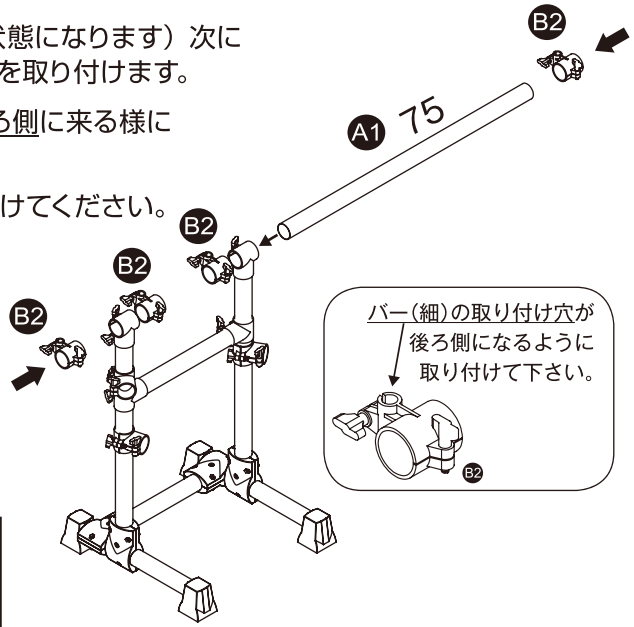
（垂直支柱間にコネクタB2を２個取り付けた状態になります）次に
75cm 水平バー（太）A1の両端にコネクタB2を取り付けます。

コネクタB2はバー（細）用の取り付け穴が後ろ側に来る様に
取り付けてください。

下の図を参考にコネクタB2を記載の間隔で空けてください。

コネクタB2	× 4
75cm水平バー（太） A1 	× 1



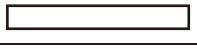
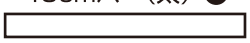


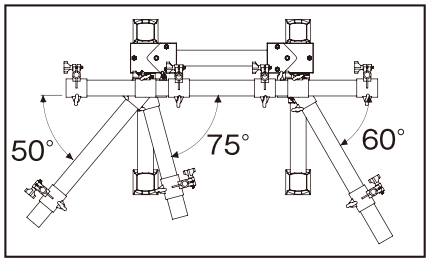
STEP 4 ハイハット、スネア、タム３用バー (太）の組み立て

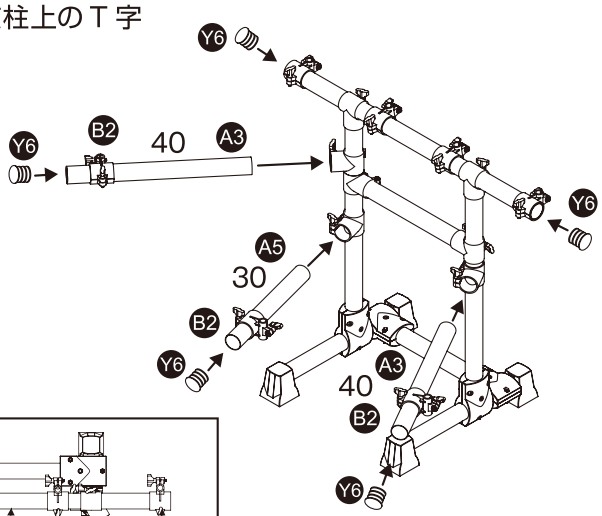
40cm バー（太）A3２本と 30cm バー（太）A5 1本に
コネクタB2を取り付けた後、図のように垂直支柱上のＴ字
コネクタB3×3に取り付けを行ってください。

75cm 水平バー（太）A1、40cm バー（太）A3
30cm バー（太）A5のエンド部分にキャップ
Y6× 5 を取り付けて下さい。

その後下の図に従い開く角度を調整して
ください。

コネクタB2	× 3
30cmバー（太） A5 	× 1
40cmバー（太） A3 	× 2
キャップY6	× 5



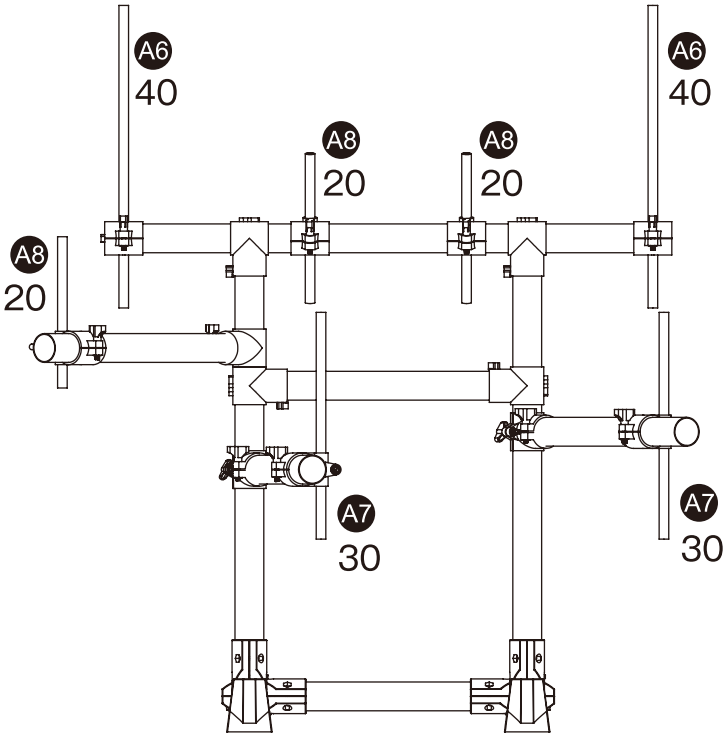


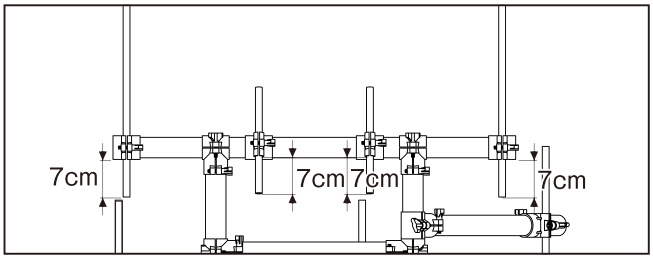
STEP 5 ドラムパッド支持用バーの取り付け

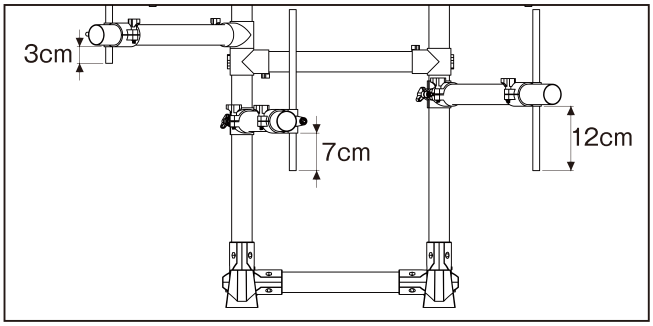
各コネクタに、ドラムパッド支持用のバー（細）A6 / A7 / A8を取り付けます。バーの長短に注意しながら図のように取り付け、ボルトを締めます。

固定位置は下の図を参考に調整してください。

20cmバー（細）A8	× 3
30cmバー（細）A7	× 2
40cmバー（細）A6	× 2





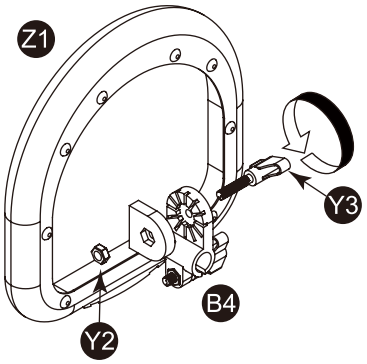


STEP 6 ドラムパッドの組み立てと取り付け

全てのドラムパッドZ1とコネクタB4を図のように組み立てます。

ドラムパッドZ1	× 7
コネクタB4	× 7

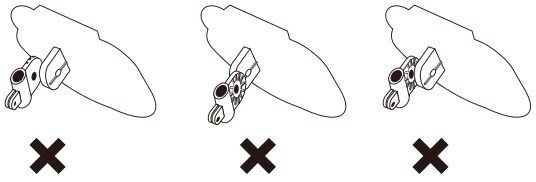
ボルトY3	× 7
ナットY2	× 7

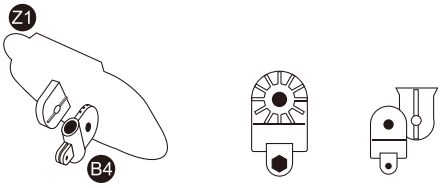


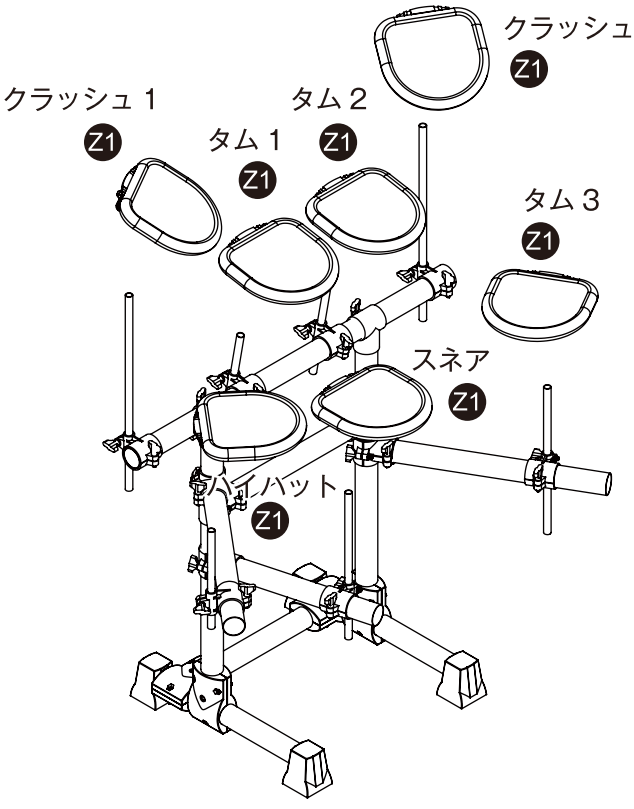
NOTE

ドラムパッドZ1とコネクタB4は、それぞれの凸凹面が噛み合うように取り付け、ボルトを締めます。

悪い例



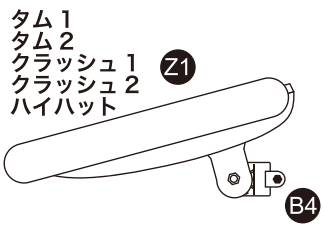




ドラムパッドZ1 ７個を図のように取り付けます。

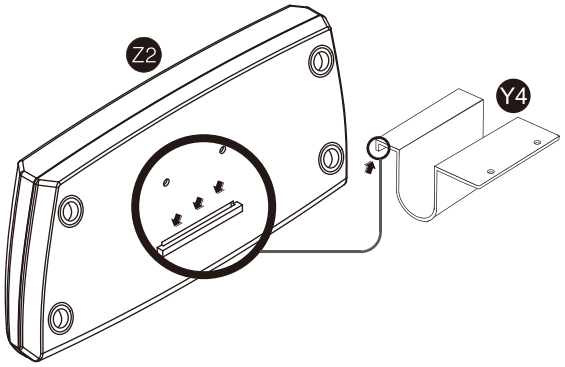
位置を決めてドラムパッドZ1のボルトを締めます。

タム１Z1、タム２Z1、クラッシュ１Z1、クラッシュ２Z1、ハイハットZ1は図のように傾斜をつけ叩きやすくします。

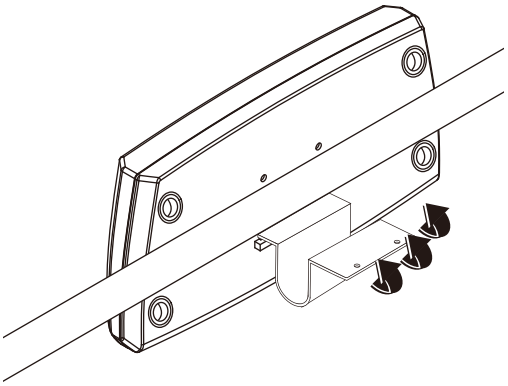


STEP 7 サウンドモジュールの取り付け

U 字ブラケットY4のカギ部分をサウンドモジュールZ2背面の溝にひっかけます。

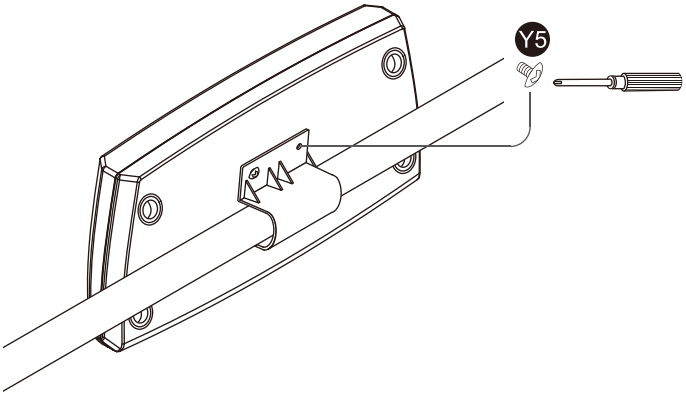


サウンドモジュールを、上から 2 番目の水平バーに取り付けます。U 字ブラケットY4を水平バーを挟むように回転させます。

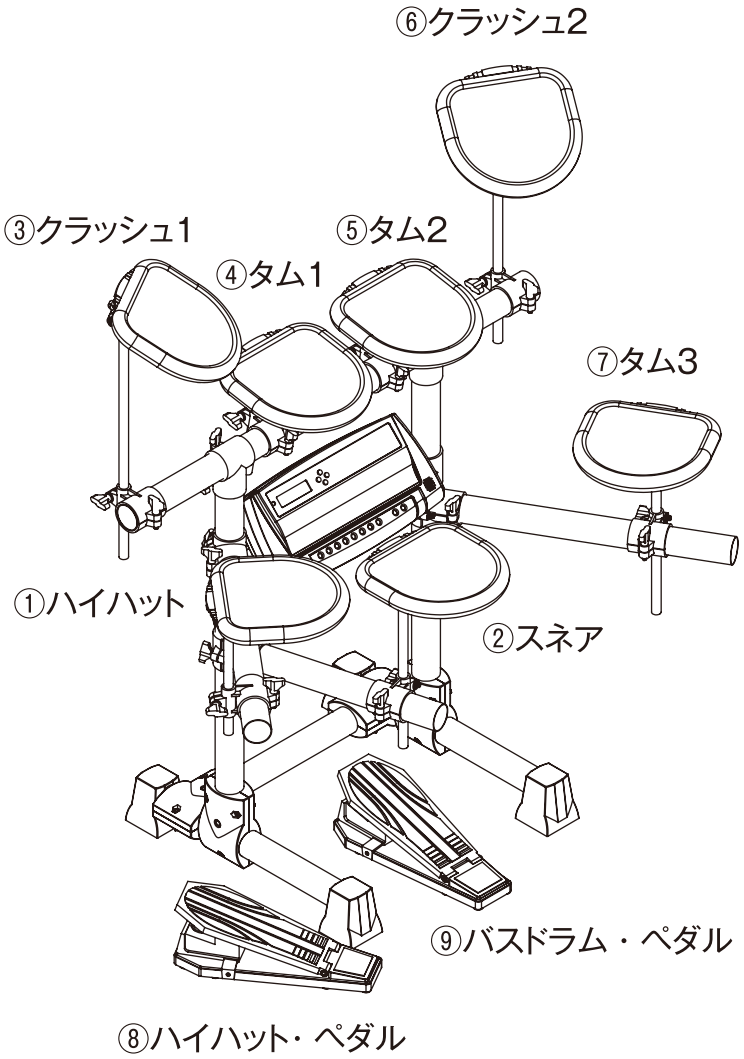


プラスドライバーでネジ2箇所を固定し、前面パネルが見えるように位置調節します。

（サウンドモジュールのはじと T 字コネクタB3が若干干渉するように見えますが問題なく取り付けできます）



STEP 8 ドラムパッドの位置調整とペダルの設置



ドラムパッドの位置調整

●椅子に座ったときの腰の高さに合わせて、②スネアの位置を調節します。

●④タム１と⑤タム２は同じ高さにそろえます。また、③クラッシュ１と⑥クラッシュ２も同様にそろえます。

●その他のパッドも必要に応じ叩きやすい位置に微調節してください。

●全体の位置が決まったら、各ボルトを増し締めしてください。このとき怪我に注意し慎重に行ってください。

●コネクタ類はプラスチック製のため伸びてゆるむため、伸び切るまで2～3日に一度ボルトの増し締めを行ってください。

●フロアバーに取り付けてあるＴ字ジョイント（大）B1は、付属のチューニングキーZ10で増し締めします。

●⑧ハイハット・ペダルはハイハットの真下に設置します。

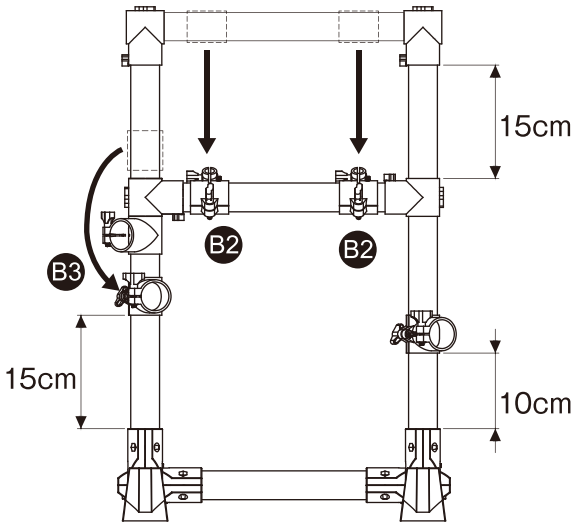
●⑨バスドラム・ペダルはドラムセット全体の中央に設置します。

STEP 9 小さなお子様が使用する場合のセッティング

サウンドモジュールZ2を取り外し、一番上の水平バーに取り付けられている（垂直支柱の間にある）コネクタB2×２を下の段の水平バーに移してください。

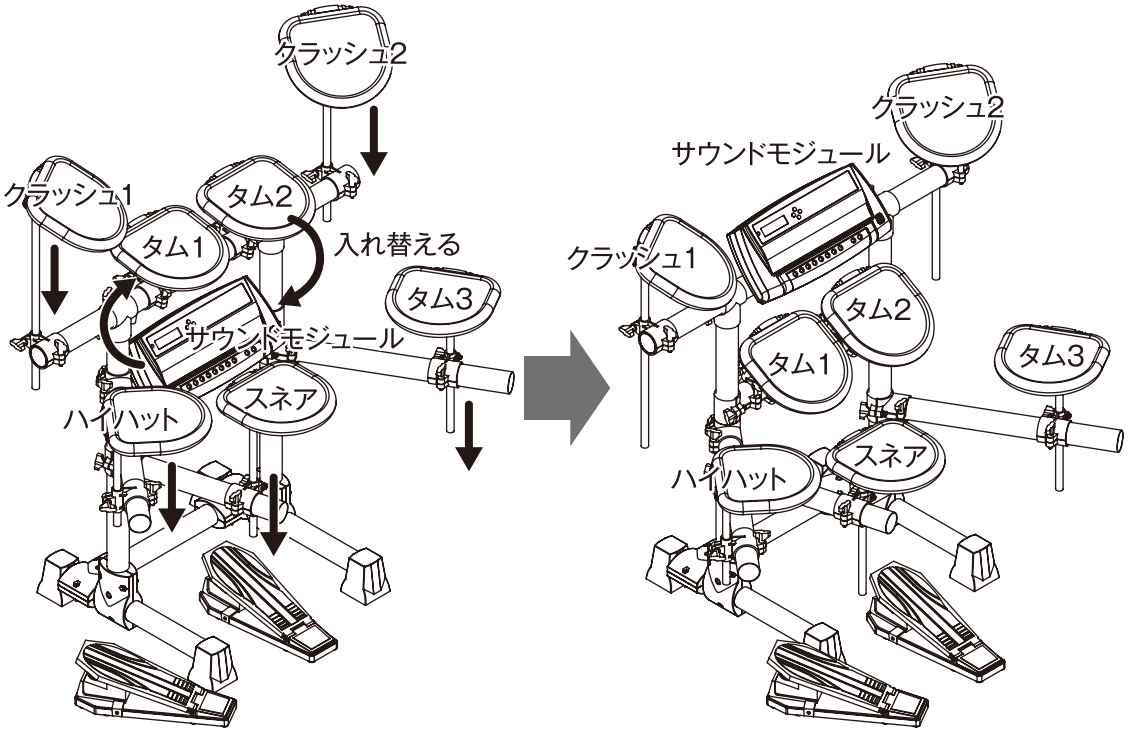
垂直支柱左側、水平バーの上のＴ字コネクタB3の位置を水平バーの下にくるように付け替えてください。

図のようにＴ字コネクタB3の間隔を空けてください。



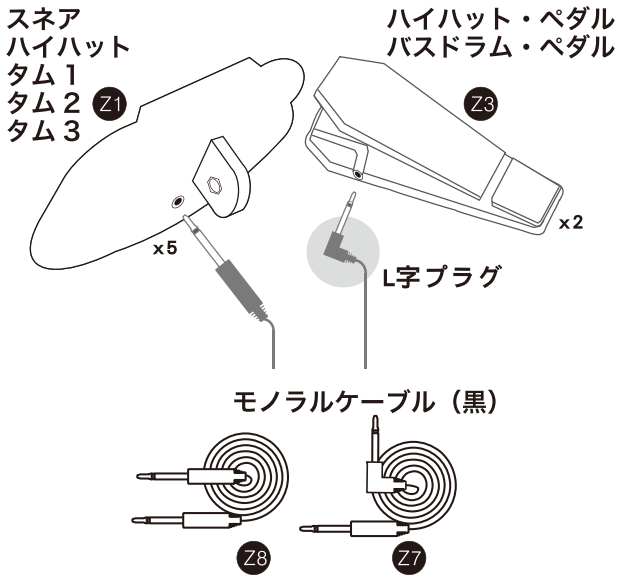
サウンドモジュールZ2とタム1、タム2の位置を入れ替えてください。

クラッシュ1、クラッシュ2、ハイハット、スネア、タム3のドラムパッドZ1と取り付けられているバー（細）を小さなお子様が叩きやすい高さになるまで全体的に下げてください。



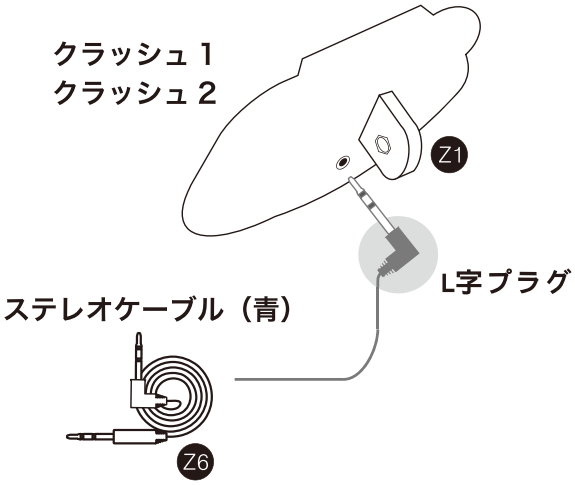
アクセサリーの接続

STEP 1 ドラムパッド / ペダルとケーブルの接続



ドラムパッド [スネア、ハイハット、タム 1、タム 2、タム 3] Z1とモノラルケーブルZ8を接続します。

ペダル [ハイハット、バスドラム] とモノラルケーブルZ7を接続します。このとき L 字プラグをペダル側に接続します。



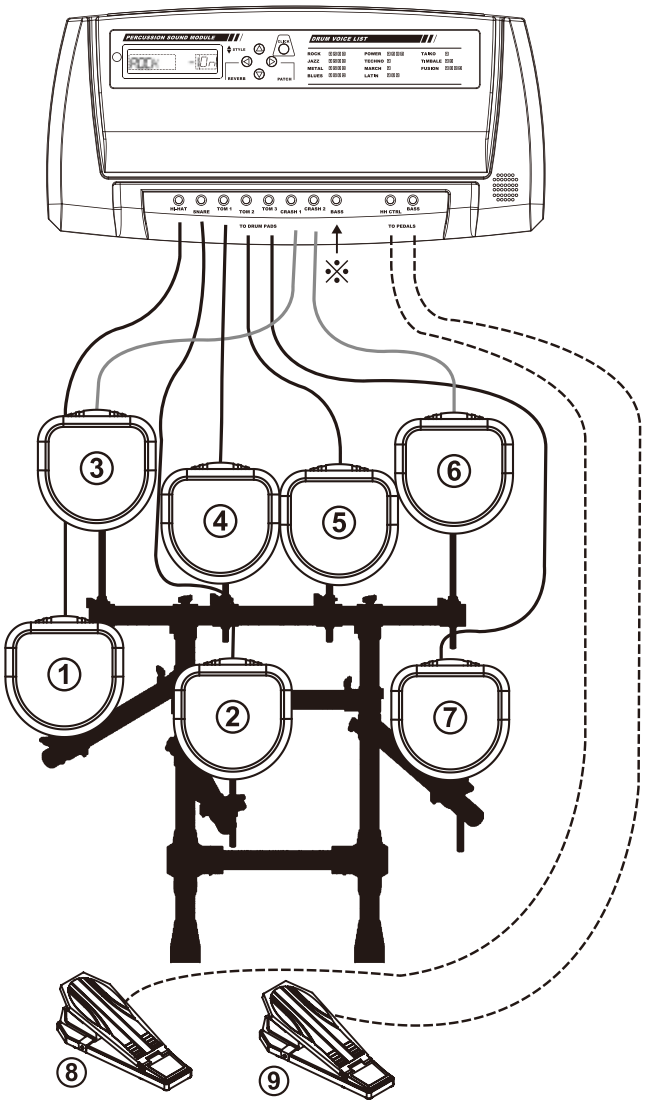
ドラムパッド [クラッシュ 1、クラッシュ 2] Z1とステレオケーブルZ6を接続します。このとき L 字プラグをパッド側に接続します。

NOTE

クラッシュはステレオケーブル（青）Z6以外で接続しても音は鳴りませんのでその際はケーブルの色を確認して下さい。

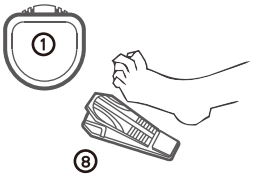
STEP 2 サウンドモジュールとの接続

図を参照しながら、サウンドモジュールにドラムパッドとペダルを接続します。ハイハット、スネアなど、各パッドの位置を確認しながら接続してください。



①ハイハット
②スネア
③クラッシュ１
④タム１
⑤タム２
⑥クラッシュ２
⑦タム３
⑧ハイハット・ペダル
⑨バスドラム・ペダル

ハイハット・パッド①とハイハット・ペダル⑧は、連携して動作します。ハイハットのオープン / クローズをペダルでコントロールすることができます。



すべてのパッド、ペダルを接続し終えたら、転倒事故などの防止のため、ケーブル結束バンドZ9を使って、ケーブルをまとめてください。

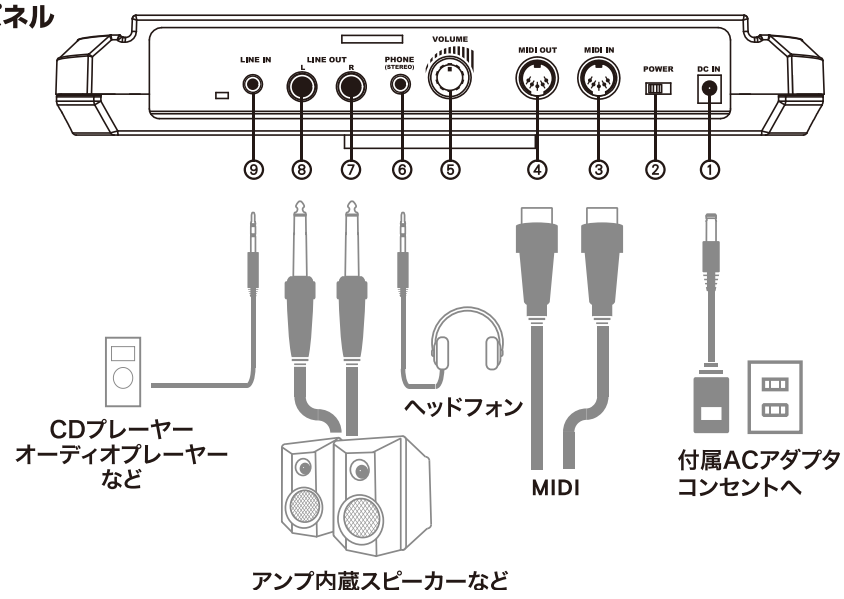
※別売のオプションキックパッドセット“JD2 Kick Pad Set”を接続する場合に使用します。

STEP 3 サウンドモジュールと外部機器の接続

① DC IN ジャック　……付属の AC アダプタを接続します。
② POWER スイッチ　……電源のオン／オフを切り替えます。
③ MIDI IN 端子　……MIDI 入力端子。※
④ MIDI OUT 端子 ……MIDI 出力端子。※
⑤ VOLUME つまみ　……音量を調整します。
⑥ PHONE（ステレオ）ジャック（ステレオ・ミニ）… ヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続しても、LINE OUT ジャックからは音が出力されます。
⑦ LINE OUT L ジャック（フォン・モノラル）…… 外部のアンプ内蔵スピーカーなどを接続します。
⑧ LINE OUT R ジャック（フォン・モノラル）　…… 外部のアンプ内蔵スピーカーなどを接続します。
⑨ LINE IN ジャック（ステレオ・ミニ）…… 外部のオーディオ・プレイヤーなどを接続します。入力された音声は、ドラムの演奏音と一緒に LINE OUT ジャックと PHONE ジャックから出力されます。

サウンドモジュール背面パネル

外部機器との接続図



NOTE

スピーカーの損傷を防ぐため、各端子への接続は⑤ボリュームを絞ってから行ってください。

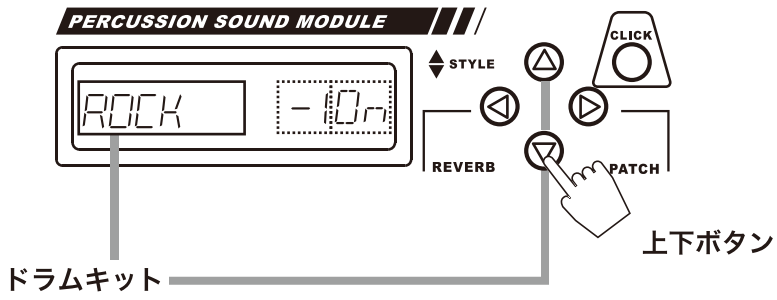
※ MIDI について

MIDI（Musical Instrument Digital Interface）とは、電子楽器、コンピューター、その他の機器間で、交信・制御・同期などを行うための業界標準の通信規格です。コンピューター、シンセサイザー、MIDI コントローラ、サウンドカード、サンプラー、およびドラムマシンなどを MIDI ケーブルで接続し、お互いのシステムデータのやりとりができます。

音色の選び方

ドラムキットの選び方

操作パネルのドラムボイス・リストを参考に、上下ボタン（△▽）でドラムキットを選びます。

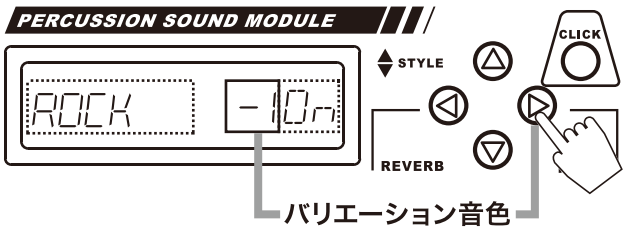


ドラムキット：ROCK/JAZZ/METAL/BLUES/POWER/TECHNO/MARCH/
LATIN/TAIKO/TIMBALE/FUSION

バリエーション音色の選び方

ドラムキットを設定したら、右ボタンでバリエーション音色を選びます。

ドラムキットにより、最大４種類のバリエーションがあります。操作パネルのドラム・ボイス・リストを参照してください。ドラムキットの右数字がバリエーション音色です。



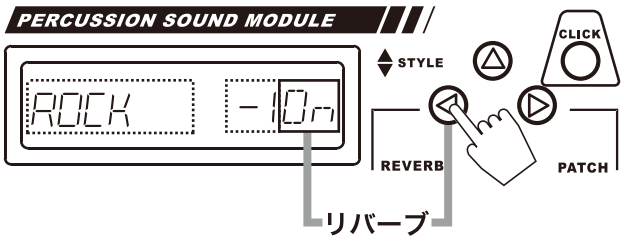
ドラムボイス・リスト

DRUM VOICE LIST

ROCK	1 2 3 4	POWER	1 2 3 4	TAIKO	1
JAZZ	1 2 3 4	TECHNO	1	TIMBALE	1 2
METAL	1 2 3 4	MARCH	1	FUSION	1 2 3 4
BLUES	1 2 3 4	LATIN	1 2 3		

リバーブ機能

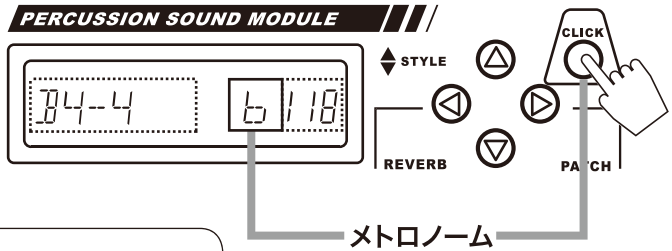
左ボタンで、リバーブ機能のオン / オフ切り替えができます。オンにするとステージで演奏しているかのような残響効果をつけることができます。（オフの時は、何も表示されません。）



メトロノーム機能

メトロノーム　オン / オフ

メトロノームを使うときは、CLICK ボタンを押します。押すたびに、オン / オフが切り替わります。



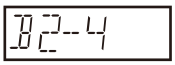
NOTE

数秒間何も操作をしないと、メトロノームのオン / オフにかかわらず通常画面に戻ります。

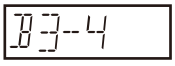
メトロノームを止めたいときは、再度 CLICK ボタンを押します。通常画面が表示されているときは、CLICK ボタンでメトロノーム機能を表示させてから、再度ボタンを押します。

ビート（拍子）の設定

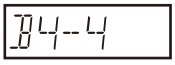
メトロノーム機能表示のとき、左右ボタンでビート（拍子）の種類を切り替えできます。



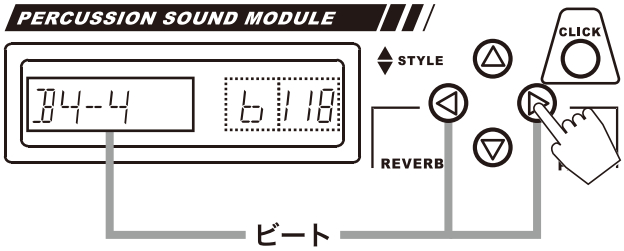
：2 拍子



：3 拍子



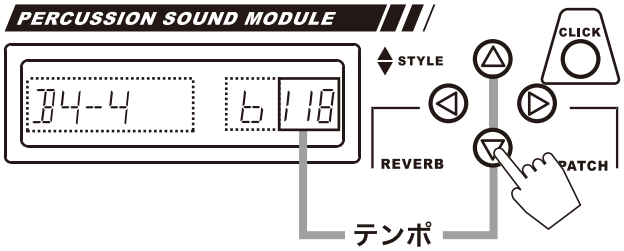
：4 拍子



テンポ調節

メトロノーム機能表示のとき、上下ボタンでテンポの調節ができます。テンポ 30-250 に対応しています。

メトロノームを使ったトレーニングは、安定したリズム感を身につけるのに理想的です。ぜひ、活用してください。



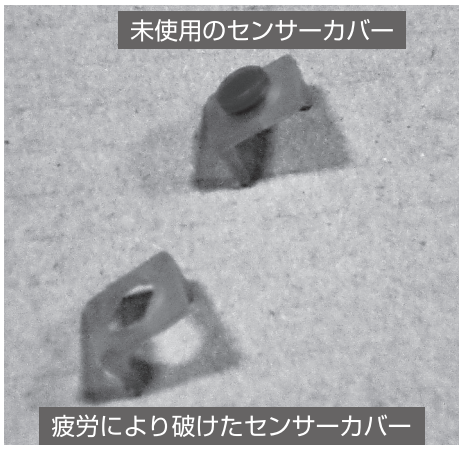
ペダル用センサーカバー交換方法

ペダル類はおよそ 10 万回踏むことで、内部ゴム製のセンサーカバーが疲労により破け音が出なくなります。

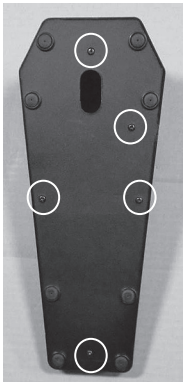
その場合は図に従い、付属のペダル用センサーカバー(交換用) Z11を交換してください。

付属のペダル用センサーカバー(交換用)Z11をなくしたり、使い切った場合は、島村楽器にて取り寄せることが可能です。

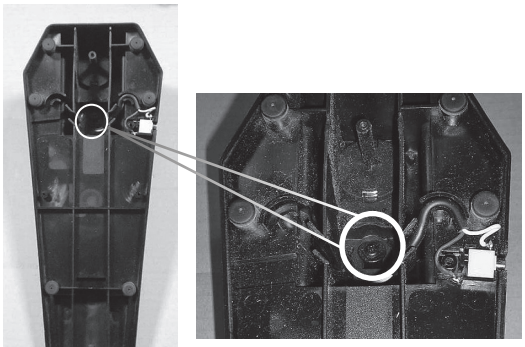
・品番 : JD SensorCover (JAN2700000049068)
販売価格￥100



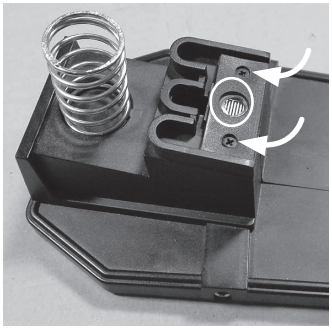
①プラスドライバーを用意し、ペダル裏側の５箇所のネジを外しプラスチック製カバーを外します。



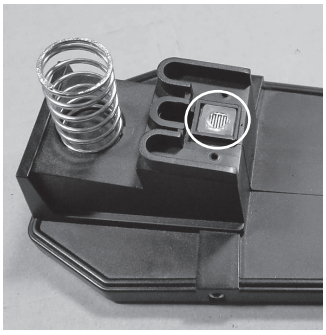
②下図の丸で囲んだ場所のネジを外します。



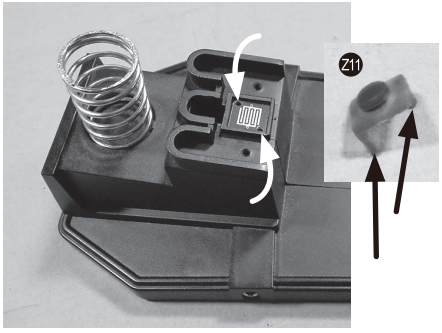
③足置き部分を上に上げ、センサー部分を露出させます。丸で囲んだ部分がセンサーカバーです。矢印の２箇所のネジを外しプラスチックのプレートを外します。



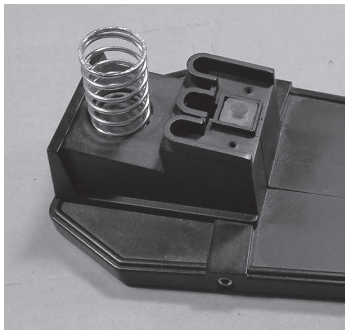
④センサーカバーが露出しますので、センサーカバーを外します。手で簡単に外せます。



⑤下記矢印の穴位置と交換用センサーカバーZ11の足位置を合わせて取り付けします。



⑥取り付けできたら、分解の逆の手順(上記④→③→②)で組み立てを行い完成です。



音色一覧表

ドラム・キット		HI-HAT	SNARE	TOM1	TOM2	TOM3	CRASH1	CRASH2	BASS
ROCK	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	ライド１	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム１	タム２	サイドスティック	クラッシュ	ライド２	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	チャイニーズ	バスドラム＊
JAZZ	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	ライド１	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム１	タム２	サイドスティック	クラッシュ	ライド２	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	チャイニーズ	バスドラム＊
METAL	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	ライド１	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム１	タム２	サイドスティック	クラッシュ	ライド２	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	チャイニーズ	バスドラム＊
BLUES	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	ライド１	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム１	タム２	サイドスティック	クラッシュ	ライド２	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	チャイニーズ	バスドラム＊
POWER	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	ライド１	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム１	タム２	サイドスティック	クラッシュ	ライド２	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	チャイニーズ	バスドラム＊
TECHNO	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	シャウト	スクレープ	ビープ	バスドラム
MARCH	1	ハイハット	スネア	タム１	タム２	タム３	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
LATIN	1	タンバリン	コンガ1	コンガ2	コンガ3	コンガ４	ハイウッドブロック	カウベル	バスドラム
	2	タンバリン	コンガ1	コンガ2	コンガ3	ハイウッドブロック	クラッシュ	ライド１	クラッシュ
	3	タンバリン	コンガ1	コンガ2	コンガ3	カウベル	クラッシュ	ライド２	バスドラム
TAIKO	1	ハイハット	スネア	タム１	タム2	タム3	スプラッシュ	クラッシュ	バスドラム
TIMBALE	1	ハイハット	スネア	タム１	タム2	タム3	スプラッシュ	ライド	バスドラム
	2	ハイハット	サイドスティック	タム１	タム2	カウベル	スプラッシュ	ライド	バスドラム
FUSION	1	ハイハット	スネア	タム１	タム2	タム3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム１	タム2	タム3	クラッシュ	ライド1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム１	タム2	サイドスティック	クラッシュ	ライド2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム１	タム2	タム3	クラッシュ	チャイニーズ	バスドラム＊

＊オプション「JD2 KICK PAD」を使用した場合、上記の＊印の音色はカウベルに変わります。

Memo

Memo

仕　様

キット構成：バスドラム・ペダル、スネア、ハイハット、ハイハット・ペダル、
タム× 3、クラッシュ× 2

ドラムキット数：11 種類（32 バリエーション音色）

サンプリングレート：16bit, 44.1kHz
（サウンドモジュール）

コントロール：電源スイッチ、上下ボタン、パッチ（バリエーション音色）ボタン、
リバーブボタン、クリック（メトロノーム）ボタン、ボリュームつまみ

クリック（メトロノーム）：テンポ= 30 ～ 250、ビート（拍子）＝3種類

接続端子：ラインアウト R/L（モノラル・フォン）、ヘッドフォン（ステレオ・ミニ）、
ラインイン（ステレオ・ミニ）、MIDI IN/OUT（5 ピン DIN）、
DC IN（付属 AC アダプタ）

電源：DC5V（AC アダプタ）

消費電流：500mA

通常組み立て外寸：（W）900 ×（D）500 ×（H）1080mm

重量：10kg

■保 証 規 定　（必ずお読み下さい）

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品、消耗品類は保証の対象になりません。
保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定により無償修理いたします。

1、本保証書の有効期限はお買い上げ日より一年間です。
2、次の修理等は保証期間中であっても有料修理となります。
- ドラムパッド、ペダル、ケーブル、スティック等の交換（初期不良を除く）。
- お取り扱い方法が不適切な為に生じた故障。
- 天災（火災、浸水等）によって生じた故障または損傷。
- 保証書にお買い上げ日、販売店が未記入の場合、販売証明シールが無い場合、または字句が書き換えられている場合。
- 本保証書の提示がない場合。

3、本保証書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）

お 願 い

- 保証書に販売年月等の記入がない場合は無効となります。
- 記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書と一緒に保管してください。
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- この機器を分解、改造された場合、保証対応できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。

島村楽器株式会社

〒 132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3
Tel. 03-3613-4160

保　証　書

お買い上げ日　　年　　月　　日

販売店印

保証期間：１年間

担当者